

学校教育目標「自分で考え、正しく判断し、最後までやり抜く生徒」



# おぢか中だより

小値賀町立小値賀中学校  
文責：校長 上野公洋

目指す学校像「共に学び合う学校」「共に支え合う学校」「共に高め合う学校」

目指す生徒像「求めて学ぶ生徒」「思いやりのある生徒」「たくましい生徒」

## 第78回卒業証書授与式 式辞

冬に芽切り、剪定をした松の木に新芽が萌え出そうとしています。春の訪れを感じさせる今日のよき日、西村町長様、宮崎議長様を始め、ご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席のもと、第78回卒業証書授与式を挙行できますことを心から感謝申し上げます。

さて、**9名**の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。**小・中学校9年間の義務教育課程**を終えようとする皆さんに、最後に伝えたいことがあります。それは、「**自ら動き、人を動かす力**」になってほしいということです。

昨年、小学校の校庭にある一番大きな**黒松**が枯れ、今年、伐採されました。樹齢百年以上と思われる松の木も、一度、**マツノザイセンチュウ**に侵されてしまうと、手の施しようがありません。自然災害や未知のウイルスの出現など、想定外のことが起こる現在の世の中では、永遠に続くものなどないことを実感させられます。

しかし、私たちは、その困難に立ち向かっていかなければなりません。そのことを先頭に立って示してくれたのが皆さんでした。**10月の学習発表会**、そして**12月の模擬議会**では、小値賀に住む者の一人として、町の課題や未来の姿について、自分の思いや考えを表現しました。

かつて、**小値賀の魅力**を全国に知らしめたのは、**子どもたち**でした。**元気**のよい、**日本一の子どもたちの挨拶**は、国語の教科書にも載り、島を訪れた人に心地よさを与え、「**もう一度訪れたい**」と思わせたのです。

小値賀町の**高齢化率**は既に50%を超え、**2人に1人が65歳以上のお年寄り**となっています。「**大人には任せてはおけない**。」若者が「**小値賀の推進力**」となっていかなければならないのです。

### 模擬議会の質問テーマ

- 「空地の問題（角永）」
- 「働き手不足（川端）」
- 「介護従事者不足（神崎）」
- 「リモートワークやワーケーションなどの働く環境の整備（小崎）」
- 「公共施設の充実（土田）」
- 「船の運賃高騰（出口）」
- 「海のゴミ問題（遠山）」
- 「規定外の野菜（濱田）」
- 「小値賀の知名度を上げる取組（山田）」

小値賀には解決すべき様々な課題があります。これらの課題を一つでもいい、その解決のために、

「**自ら動き、人を動かす力**」 になってください。

たった9人しかいませんが、皆さんは、豊かな個性と強い団結力をもって  
います。ぜひ、小値賀を引っ張る力となってください。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。9年間の義務  
教育を終え、これまでのご苦勞に、感慨深いものと存じます。ご家庭での温かな  
見守りと、本校教育活動へのご理解・ご協力に深く感謝申し上げます。今後とも、  
本校は「地域とともにある学校」を目指していきますので、変わらぬご支援を  
賜りますようお願い申し上げます。

最後に、

9名の皆さんには、卒業記念に黒松の苗を贈りました。松も、皆さんも、これ  
からどのように育っていくのか楽しみです。2年後、本校は創立80周年を迎え  
ます。さらに10年後、20年後、100周年の時にも、この場所を巣立った皆さん  
が集える場所として、小値賀中学校はこの地に立ち続けることを誓います。

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。また、この地で会いましょう。

4月の行事予定

1 (火)		16 (水)	視力・聴力・運動器検査
2 (水)		17 (木)	全国学力(3年国・数)、県学力(2年国・数)、 標準学力(1年国・数・英)、内科検診
3 (木)		18 (金)	県学力調査(3年英語)
4 (金)		19 (土)	
5 (土)		20 (日)	
6 (日)		21 (月)	避難訓練、体育祭結団式、合同練習
7 (月)		22 (火)	歓迎遠足
8 (火)		23 (水)	合同練習
9 (水)	耳鼻科検診	24 (木)	生徒集会、授業参観、PTA総会・学年PTA
10 (木)	身体測定	25 (金)	合同練習、尿検査1次
11 (金)	学級役員任命式、心電図検査、生徒会入会式	26 (土)	
12 (土)		27 (日)	
13 (日)		28 (月)	合同練習、尿検査予備日
14 (月)		29 (火)	昭和の日
15 (火)	全国学力・学習状況調査(3年理科、質問紙)	30 (水)	合同練習、耳鼻科検診予備日

※ 現時点での予定ですので、変更もありえます。

この度、人事異動で小値賀町を離れることになりました。2年前に初めて  
小値賀にやってきましたが、私にとって何か懐かしさを感じるころでした。  
西海市崎戸町の出身ですが、子どもの頃は、船で佐世保に渡り、玉屋の屋上の  
乗りもので遊んだ後にチリンチリンアイスを食べ、おみやげに一休の回転焼  
を買って帰るのが、家族のお出かけの楽しみでした。現在の崎戸はというと、  
小・中学校は統廃合でなくなり、島では子どもの声がほとんど聞かれなく  
なりました。値中での学校経営は、自分の故郷がさびれていくことに対して  
何もできなかった口惜しさをぶつけてきた2年間のように思います。これ  
からは、当事者から応援者と変わりますが、小値賀中学校、小値賀町の発展を  
心から願っています。本当にお世話になりました。ありがとうございました。